

令和6年度 社会科 歴史的分野 <第1学年> 年間指導計画と評価規準

社会科の目標

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

社会科 歴史的分野 第1学年の目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵（かん）養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

第1学年年間指導計画(評価規準)

★ 知は、知識・技能 思は、思考・判断・表現 主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
11	第1部 歴史のとらえ方と調べ方 第1節 歴史の流れと時代区分	中学校の歴史学習の導入として、小学校で学習した内容をもとに課題を追究したり解決したりする活動を通して、年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解させ、資料から歴史に関わる情報を読み取ったり、年表などにまとめたりするなどの技能を身に付けさせる。	知 年代の表し方や時代区分の意味や意義についての基本的な内容を理解している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思 時期や年代、推移、現在の私たちとのつながりなどに着目して、歴史上の人物や文化財、出来事などから適切なものを取り上げ、時代区分との関わりなどについて考察し表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主 過去を継承しつつ、現在に生きる自身の視点から歴史に問いかけ、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
11	第2部 歴史の大きな流れと時代の移り変わり。 第1章 古代 古代国家の成立と東アジア 第1節 人類の登場から文明の発生へ ◇節の問い◇ 世界各地の文明は、どのように成立し、発展したのだろうか。	○古代文明や宗教が起こった場所や環境などに着目して文明や宗教の特徴を比較して考察し、世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展、都市や巨大建造物、身分の分化などの共通する特徴があることに気づかせる。	知 世界の古代文明や宗教のおこりをもとに、世界の各地で文明が築かれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思 古代文明や宗教が起こった場所や環境に着目して、文明や宗教の特徴を比較して考察し、共通点に気づくなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主 世界の古代文明や宗教のおこりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
12	第2節 東アジアの中の倭(日本) ◇節の問い◇ 日本列島には、どのようにクニが出来て、勢力を広げたのだろうか。	日本列島において狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などにもとづく信仰が後の時代にもつながっていることに気づかせる。	知 日本列島における農耕の広まりと生活の変化や当時の人々の信仰、大和政権による統一の様子と東アジアとのかかわりなどをもとに、東アジアの文明の影響を受けながらわが国で国家が形成されていったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思 農耕の広まりや生産技術の発展に着目して、農耕の広まりが生活や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主 日本列島における国家形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察

1	第3節 中国にならった国家づくり ◇節の問い◇ 日本の古代国家は、どのような国づくりを行ったのだろうか。	聖徳太子の政治、大化の改新から律令国家の確立に至るまでの過程を大きくとらえさせ、大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを理解させる。	知	律令国家の確立に至るまでの過程をもとに、東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられ、その後、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主	律令国家の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
1	第4節 展開する天皇・貴族の政治 ◇節の問い◇ これまでに中国から取り入れた制度や文化は、どのように展開したのだろうか。	摂関政治をもとに平安京における貴族の政治の特色をとらえさせる。東アジアの情勢の変化によって、わが国でも政治と文化において独自の動きが見られるようになったことに気づかせる。	知	摂関政治をもとに、天皇や貴族による政治が展開したことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思	東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化に着目して、東アジアの動きが政治や文化に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主	古代の文化と東アジアとの関わりについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
2	第2章 中世 武家政権の成長と東アジア 第1節 武士の世の始まり ◇節の問い◇ 武家政権はどのように誕生し、どのような政治を行ったのだろうか。	武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解させる。武家政治の特徴を考察し、天皇や貴族の政治との違いという観点から、古代から中世への転換の様子に気づかせる。	知	鎌倉幕府の成立などをもとに、武士が台頭して、主従の結び付きや武力を背景とした武家政権が成立し、その支配が広まったことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思	武士の政治への進出と展開や貴族の政治との違いに着目して、武家政治の特徴を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、古代から中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主	武家政治の成立とユーラシアの交流について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
2	第2節 武家政権の内と外 ◇節の問い◇ ユーラシア大陸からの影響によって、日本にどのような変化が起こったのだろうか。	元寇がユーラシアの変化の中で起こったことなど、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解させる。南北朝の争乱の中で室町幕府が成立し、武家社会が次第に大きな力をもったことや周辺諸国と幕府の外交関係について理解させる。	知	元寇が国内に及ぼした影響、南北朝の争乱と室町幕府、日明貿易、琉球の国際的な役割などをもとに、武家政治の展開とともに、東アジア世界との密接なかかわりが見られたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思	東アジアの交流に着目して、東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主	武家政治の展開と東アジアの動きについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
3	第3節 人々の結び付きが強まる社会 ◇節の問い◇ 武士や民衆はどのような結び付きの社会をつくっていったのだろうか。	各地に戦乱が広まる中で戦国大名が登場し、自らの領国を支配して分国法を定めたり、城下町を形成して産業の振興に努めたりしたことや、下剋上の風潮など、社会全体が大きく変化していったことに気づかせる。	知	農業など諸産業の発達、都市や農村における自治的なしくみの成立、多様な文化の形成、応仁の乱後の社会的な変動などをもとに、民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			思	農業や商工業の発達に着目して、民衆の成長が社会に与えた影響を考察するなど、事象を相互に関連付けるなどして、中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。	ノートの記述 定期考査 授業観察
			主	民衆の成長と新たな文化の形成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。	ノートの記述 定期考査 授業観察